

新春を迎えて

県北振興局長 永松 和人



新年明けましておめでとうございます。皆様には令和に入り初めての新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は長崎県総合計画が最終年度を迎えます。これまでの成果や課題を検証しつつ、より一層の選択と集中を図り、新たな視点や発想を取り入れながら、市町、企業や団体、地域の皆様方

の思いをひとつにして、計画の実現に向けて様々な地域課題に取り組んでまいりたいと考えております。

特に本県の最大の課題であります人口減少対策につきましては、良質な雇用の場の確保と若者の県内定着促進対策、自然減対策としての結婚・出産・子育て支援について、より実効性のある施策を進めてまいります。

また、特定複合観光施設（IR）区域の整備につきましては、区域整備計画の認定申請に向けた準備を進めているところでございま

するものと期待しております。

す。今後とも県民の皆様のご意見を伺いながら、関係者の皆様と一層の連携を図り、本県へのIR導入実現を目指してまいります。

地域の基盤となる社会資本の整備としましては、IRが整備されるハウステンボスから近い佐世保港浦頭地区で、佐世保市においてクルーズ拠点港としての整備が進められており、観光周遊による交通量の増加対策として、一般県道202号（浦頭工区）の改良事業

を実施してまいります。国の事業として進められている西九州自動車道につきましては、「伊万里松浦道路」調川・松浦インター

間が平成30年12月に供用されるなど、着々と進捗しているところとす。「松浦佐々道路」につきましても、1日も早い完成を目指し、関係市町と協力して県北振興局内に西九州道推進室を設置し、積極的に事業を進めてまいります。

この西九州自動車道の整備につきましては、アクセス道路の整備など、地域の利便性、快適性、安全性を高めるための道路整備も実施しており、地域間交流の促進や企業誘致など、地域経済の活性化に大いに寄与

するものと期待しております。また、近年多発している台風などの自然災害から人命財産を守るために、日野川、早岐川などの河川改修事業や松浦市里地区の地すべり対策事業等のハード対策を進めるとともに、ソフト対策として土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定を進め、「安全・安心なまちづくり」のために、しっかりと取り組んでまいります。

海上輸送の拠点、水産業の基地となる港湾・漁港につきましても、利用者の利便性向上、安全確保、水産業従事者の就労環境改善のため、松島港、調川港、肥前大島港、小値賀漁港、館浦漁港等で、浮桟橋の整備や老朽施設の改良、岸壁の耐震化などを推進してまいります。

建設産業は地域経済を支え、雇用を創出し、社会資本の整備を担う重要な産業であります。今後とも建設産業に携わる皆様とともに、県北地域の更なる活性化のために、職員一同、全力で取り組んでまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後にになりましたが、皆様の今後益々のご発展とご健勝を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

年頭のごあいさつ

佐世保市長 朝長 則男



明けましておめでとうございます。

昨年、本市は日本遺産である佐世保鎮守府開庁・佐

世保港開港130年の記念の年を迎え、数多くの記念事業が展開されました。

本年も「東京2020オリンピック・パラリンピック」の聖火リレーが5月に行われるほか、世界約80カ国の高校生が集う「第31回国際生物学オリンピック2020長崎大会」の開催など、さまざまな催しが予定

されています。また、4月にスタートする「第7次佐世保市総合計画」については、市民全体で佐世保の価値を高め、シビックプライドを持つて力強く市内外に発信し、未来に輝く「きつと都させほ」を皆さまとともにつくり上げていきますので、今後ともご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

また、4月にスタートする「第7次佐世保市総合計画」については、市民全体で佐世保の価値を高め、シビックプライドを持つて力強く市内外に発信し、未来に輝く「きつと都させほ」を皆さまとともにつくり上げていきますので、今後ともご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

また、4月にスタートする「第7次佐世保市総合計画」については、市民全体で佐世保の価値を高め、シビックプライドを持つて力強く市内外に発信し、未来に輝く「きつと都させほ」を皆さまとともにつくり上げていきますので、今後ともご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

健やかで輝かしい年へ

松浦市長 友田 吉泰



希望に満ちた輝かしい新春を迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、5月1日に「令和」という新たな時代が幕開けしましたが、全国各地では、豪雨や台風などによって、多くの尊い生命が失

われしました。改めて、犠牲者のご冥福をお祈りし、被災された皆様にお見舞を申し上げます。

松浦市でも、8月末、記録的な大雨に見舞われ、中でも、今福町浜ノ脇地区や不老山山腹では大規模な地滑りが発生し、今なお張り詰めた状態の中、不便な生活を余儀なくされるなど、自然災害に備えることの重要性を再認識した一年となりました。

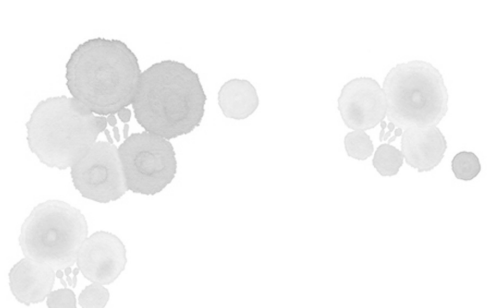
迎えた新しい年は、これまで計画してきた大型事業が完成或いは本格的に始動する年となります。

まず、松浦魚市場再整備事業は、4月から一部供用を開始するとともに、来年3月末の完成を目指し、鋭意取り組んでまいります。

次に、市民福祉総合プラザ（仮称）は3月末の完成、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）が整備中の「松浦中央病院（仮称）」は、10月末の開院が予定されております。

更に、待望の「鷹島小中学校」及び「調川公民館」は、いよいよ本格的な工事に入ることから、小学校区単位でのまちづくりに向け、大きな弾みになること

を期待しております。結びに、新しい年が皆様にとりまして、健やかで輝かしい年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



溶射工事・重防食塗装・工場溶射加工

株式会社 白浜工業

【本社】佐世保市元町1-10 / TEL.0956-28-2165(代) FAX.0956-28-2103
【工事部】佐世保椎木町398 【御橋防錆工場】佐世保市吉井町橋川内405-6

長崎県北生コン協同組合

理事長 福田 輝 機

〒857-0032 長崎県佐世保市宮田町1-6
電話 0956-76-7001 FAX 0956-76-7002

（適）マーク承認工場・官公需適格組合



新春を迎えて

五島振興局長 村山弘司



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和の時代に入り初めての新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

五島列島は、世界文化遺産の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を

はじめ、西海国立公園に代表される豊かな自然、多種多様な農水産物などの地域資源に恵まれております。五島振興局では、これらの地域資源を活かし、滞在型観光の促進、「地域産業の振興と雇用の創出」、「若者の島内定着」等に取り組みとともに、これらを支え、持続可能な社会基盤の整備を推進しております。

現在進めております土木分野の主な事業をご紹介します。

まず道路では、一般国道384号（白魚バイパス）や主要地方道福江富江線（浜工区）において、地域間の交流を促進するために、幅員狭小で線形が悪い区間の整備を行う道路改良事業を行っております。また、一般県道大浜福江線（下崎山工区）では、通学児童等の歩行者の安全確保のために、歩道の整備などを行う交通安全施設等整備事業を、主要地方道富江岐宿線（田尾工区）では、道路利用者の安全を確保するために、斜面からの落石や土砂崩落を防止する道路災害防除事業なども行っております。

次に河川・砂防では、近年多発している豪雨による洪水や土砂災害から地域を守り、安全・安心な社会をつくるために、牟田川、釣道川の河川改修事業や、中木場川、中尾川（ハ）の通常砂防事業、小川原地区の急傾斜地崩壊対策事業などを行っております。

港灣・漁港では、物流などの機能を確保するために、相の浦港の港湾整備事業や有川港の防災・安全改修事業を、また、漁業活動の効率化や安全性を高め、漁業者の就労環境改善を図るために、荒川漁港の水産生産基盤整備事業などを行っております。

農林業分野では、生産性向上を図るための農地整備事業をはじめ、ため池整備や林道開設、治山事業等に加え、昨年甚大な被害があった災害復旧事業を推進しているところであります。建設業は社会資本の整備を担うだけでなく、地域経済を支え、雇用を創出する重要な産業であります。今後とも、職員一丸となって各種施策の推進に努め、その効果を十分に地域へ還元できるよう具体的な施策を展開してまいりますので、建設業に携わる皆様のお力をお借り申し上げます。

結びに、皆様の今後益々のご発展とご健勝を心より祈念し、新年のご挨拶いたします。

2020 希望あふれる年！！

五島市長 野口市太郎



新年、あけましておめでとうございます。

健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、

市政運営のスローガンとして掲げた『結集！みんなの力で五島を豊かに！人口減に挑む！』について、待ってきた種が成果として表れた1年でありました。

特に、人口減少の抑制という点においては、転入と転出の差である社会動態

が、昨年1年間で33人の増。記録が残る平成9年以降、初めて増加（合併後の五島市ベースで集計）に転じました。

上回るペースで推移しました。

大規模事業については、昨年、五島日本語学校の改修、新ごみ処理施設の建設、緑丘小学校の校舎部分の改築が完了し、災害時の対策拠点として整備を進めてきた市役所庁舎についても、1月末に完成を迎えます。

本年は、これまで準備を進めてきた新図書館の建設に着工する予定としており、洋上風力発電のウィンドファーム事業（風車10基程度）を目指している崎山沖については、昨年末、再エネ海

域利用法に基づく「促進区域」に全国で第1号の指定を受け、いよいよ事業実施者の公募という段階に入ります。

4月からは「第2期五島市総合戦略」をスタートさせます。引き続き、ふるさと五島の活性化に向けて、全力で市政運営に邁進してまいりますので、皆様のご支援・協力をお願いいたします。

本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈りし、新年のご挨拶いたします。

令和2年度 土木施工管理基礎研修

建設業入職後の若年建設技術者（普通高校卒業者等）を対象とした土木施工管理に関する基本的な技術・技能を習得するための短期研修（約2ヶ月）です。工業高校1年生が学ぶ教科に、実務上必要な項目を取り入れた内容となっています。

【長崎県認定職業訓練】

充実した講師陣

効果的な演習・実習

初心者でも分かり易い座学

受講生間の相互啓発

技能講習及び資格取得

昨年の科目

安全衛生、土木概論、基礎力学、設計図の構成見方、コンクリート実習、施工管理、測量、施工管理実習、技能講習

【取得予定の資格】小型移動式クレーン、玉掛け

平成31年度
受講者の声



自分がこの仕事に向いているのか正直わからなかったが、研修の2ヶ月間で建設業が好きになった。一生関わっていきたい。

2月募集開始

5月研修開始



公益財団法人 Nagasaki civil Engineering Research Center

長崎県建設技術研究センター

〒856-0026 長崎県大村市池田2-1311-3

TEL:0957-54-1600 (代表)

FAX:0957-54-1592

NERC

検索

http://www.nerc.or.jp



活力ある対馬づくりへ全力

対馬振興局長 松尾 誠司



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ここ数年、対馬では災害が毎年のように発生し、特に昨年は7月の台風5号、8月末の大雨、さらに9月の台風17号と、頻繁に大雨特別警報が発令され、「50

年に1度の大雨」による島内各地で家屋の浸水被害、がけ崩れ、道路交通止めなど土木、農林関係の被害が生じました。自然災害はここ対馬においても、いつでもどこでも起こりうるものとして改めて認識させられたところでもあります。

こうした中、建設業協会対馬支部のみなさまには、その度、迅速かつ的確な支援活動にご尽力いただきました。このような協会の皆様の長年にわたるご支援に感謝の意を表すため、昨年10月県建設業協会対馬支部様に対して、感謝状を贈ら

せていただいたところであります。一方、対馬地域の安全・安心のため、このような重要な役割を担っていただいております建設業界においては、島内の土木技術者638名の方の平均年齢が55・2才、60才以上が全体の4割を占めるなど、高齢化が進み近い将来に深刻な技術者不足になることが懸念されております。

このため、建設業の担い手確保として、企業説明会に加え、中学校での職業講話や職場体験受け入れ、高校での進路セミナーなど、早い段階で建設業に目を向けてもらうための様々な取り組みを行っております。特に新たな担い手確保対策として注目すべきは、昨年5月建設業協会対馬支部

が制度創設された「奨学金制度」でありまして、県下でも初めての対馬島内の建設業方々自らが担い手確保、若者定着を促進する取り組みを始めるという画期的なものであります。県内初の積極的な取り組みに改めて感謝申し上げる次第であります。

振興局としまして、具体的な制度の利用者の確保に向け、一体となって協力させていただきたいと思っております。

さて、本年の島内における建設農林関係の事業として、関係各位のご協力のもと、引き続き、主要地方道厳原豆酸美津島線「尾浦安神工区」、国道382号「桧滝工区」の事業促進や、交通の拠点となる「厳原港」、「対馬空港」

の整備に加え、「比田勝港」の港湾施設拡充も進めてまいります。

更には、「一重川通常砂防工事」の本体工事をはじめ、河川工事、急傾斜地の対策工事や治山工事などの進捗を図り、島民の安全・安心の確保にも努めてまいります。

令和2年 新年のご挨拶

対馬市長 比田勝 尚喜



では、輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、50年に1度の記録的な大雨により、河川の氾濫や土砂崩れなどによる広範囲に渡る家屋の浸水、また損壊などの被害が発生し、大きな爪痕を残すこととなりましたが、市民の皆

様が「自助・共助」を体現していただき、被害の拡大防止、そして復旧に汗を流していただいたことに感謝を申し上げますとともに、この度の災害を教訓に公助の連携の在り方を検証し、更なる地域防災力の強化に努めて参ります。

また、一昨年にしまぐらし応援室を創設以降、移住・定住や雇用創出などの支援が奏功し、移住者が増加している一方で、昨年を上回る勢いで来島していた韓国人観光客が、昨年7月の

日韓貿易摩擦問題から激減する事態となり、観光産業は予測もしない大きな打撃を受けることとなりました。この観光客激減に対処するため、国、県に支援をいただき、関係団体等ともスクラムを組み、国内観光客の誘客をはじめとする各種施策を展開しており、今年もその取り組みを更に強化してまいります。

結びに、私たちのふるさと対馬は、先人たちのためまめ努力と情熱、そして、挑戦によりその礎が築かれ

てきました。今を生きる私たちがその思いをつなぎ、未来へ続く道を照らし続けていかなければなりません。その先頭に立ち、歩を進める所存でありますので、皆様には、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

皆さまの新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれまし

ては、輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、50年に1度の記録的な大雨により、河川の氾濫や土砂崩れなどによる広範囲に渡る家屋の浸水、また損壊などの被害が発生し、大きな爪痕を残すこととなりましたが、市民の皆

”しまは日本の宝”

一般社団法人

長崎県建設業協会 五島支部

支部長 戸田 博之

副支部長 浜田 哲男

他 会員一同

〒853-0032 長崎県五島市大荒町343

Tel(0959)72-2606
Fax(0959)72-6398

私達は、地方の建設産業界と共に歩む「専門紙の会」です。

全国の74万読者が
パートナーです。

中央から地方へ、地方から中央へ。伝えたい情報をピンポイントで的確に。ぜひ、私共のネットワークを活用し、PRにお役立て下さい。

①ダイレクトに商品PR

読者は中小ゼネコン、設備工事、専門工事等産業界全般です。

②レスポンス期待大

必ず読まれる新聞だけに、効果は大きいものがあります。

③料金設定リーズナブル

全国紙に比べ格安で提供しています。

④紹介記事の配信

製品PR、イベント記事も掲載いたします。

お問い合わせ先／株式会社 建設新聞社

〒849-0301 佐賀県小城市牛津町乙柳1145-7 TEL.0952-66-5750
E-mail kssaga@lin.e.ocn.ne.jp

北海道から沖縄まで32紙の
全読者に貴社の広告PRが
一斉に配信できます!!

NO.1

建設産業界最多読者数を誇る
※読者数/735,392人(2010年10月現在)

観光事業等を推進

小値賀町長 西村 久之



謹んで、新春のご挨拶を申し上げます。
新天皇皇后両陛下がご即

位され、年号が令和となり初めての輝かしい新年を、皆様におかれましては、健やかに迎えのことと心からお願い申し上げます。

さて、令和元年度においては、令和二年度に着手予定の新しい町立診療所の設計業務委託の他、町民の念願であった光ブロードバン

ドサービスの利用が実現しました。さらに、フェリーに乗船する際に風雨に濡れることもなく乗下船できるボーディングブリッジの設置工事等を発注し、現在取り組んでいるところでございます。

令和二年度は、前述の新しい町立診療所の新築工事に着手する他、世界文化遺産の「野崎島の集落跡」を活用した観光事業等を推進し、現在定期航路が廃止になつている「小値賀空港」につきましても、既に利活

用の協議を始めておりますので、この件についても進めて参ります。
多くの課題が山積しておりますが、総合計画・総合戦略を精査し、着実に進めて参りますので、今後も変わらぬご支援とご協力を切にお願いいたします。

今年一年が、皆様にとりまして最良の年でありましよう、心より御祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和二年一月吉日

課題解決の一助へ積極支援

公益財団法人長崎県建設技術研究センター

理事長 田村 孝義



は、講師並びに関係団体のご尽力により無事終了することができました。本紙面をお借りし改めてお礼を申し上げます。

新年、明けましておめでとございます。皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。令和に変わり新しく開講した「長崎県認定職業訓練士木施工管理基礎研修」

IA活動で支援するなど、日本代表ならびに世界各国の代表が、被災地を含めた多くの国民に感動を与えてくれました。
近年は、全国各地で大規模な災害が発生し、国土強靱化を進めていくことが求められています。また、社会インフラの老朽化対策や建設業の担い手確保・育成も大きな課題となつていま

建設業界が抱える諸課題について、解決の一助となるよう積極的な支援に取り組んでまいりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。
本年が皆様にとりまして、実り多い一年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

さて、昨年は、日本でラグビーワールドカップがはじめて開催されましたが、なかでも、東日本大震災からの復興のシンボルとして釜石市で開催されたことや、台風19号襲来で被災を受けた地域を、カナダ代表やナミビア代表がボランテ

これら喫緊の課題に対し、当センターは、品質検査などの「社会資本整備の支援」、橋梁点検などの「社会資本維持管理の支援」、研修などの「担い手の確保・育成の支援」などの業務を行っております。
本年も引き続き、行政や

特定建設業(特-29)第4335号

電気工事業・管工事業・電気通信工事業
土木工事業・水道施設工事業・建築工事業他

こばた電設株式会社

代表取締役 小畑 和男

長崎県五島市吉田町2532-5 TEL.0959-72-8501(代) FAX.0959-72-8510

おかげさまで創業65周年



株式会社

旭管工社

代表取締役 中村 勝

長崎県知事許可(特・般-1)第704号
冷暖房空調・給排水・衛生設備
消防設備・浄化槽・換気設備
設計・施工

長崎県長崎市諏訪町4-8 Tel:095-822-7441 Fax:095-822-8916 e-mail asahi-k@ngs2.cncm.ne.jp



株式会社 西海建設



本社/〒850-0032 長崎県長崎市興善町2-8
TEL:095(825)1413 FAX:095(827)3825
http://www.saikai-grp.com



株式会社 エムアイ興産

代表取締役 池田 正喜

本社/長崎県佐世保市愛宕町38-1 TEL:0956(26)2010
佐々支店/長崎県北松浦郡佐々町本田原免17-7 TEL:0956(62)3990

http://mi-kosan.co.jp/

生コン・アスファルト販売
有限会社 対成コンクリート

代表取締役 小宮 量浩

佐護生コン工場 対馬市上県町佐護東里1894-1 TEL.0920(84)5511 FAX.0920(84)5522
美津島生コン工場 対馬市美津島町鶏知乙760-1 TEL.0920(54)8833 FAX.0920(54)8822

OHTSUBO KENSETSU



大坪建設株式会社

代表取締役 大坪 弘成

長崎県平戸市田平町山内免625-4 Tel 0950-57-0171 FAX 0950-57-3371

優れた技術でお客様のニーズにお答えし 未来の技術シーンを追いつける



株式会社 古川電機製作所

代表取締役 古川 健

自動車電気装置整備・販売/電気・電気通信工事・管・機械器具設置工事/ドコモショップ広田店グループ
佐世保市大和町342-1 TEL.0956-31-3123 FAX.0956-32-7900 https://www.furukawa-denki.jp

地域に貢献できる工業高校生

長崎県立佐世保工業高等学校

校長 長池 紀英



明けましておめでとございます。令和になり初めての新春を迎え、謹んで御挨拶を申し上げます。

建設業の皆様には日頃からインタナシブ、デュアルシステム、見学や講話、測量の実技指導等本校の教育活動に多大なる御支援と御協力を戴き心より感謝いたしますとともに、厚く御礼を申し上げます。

建設業の皆様には日頃からインタナシブ、デュアルシステム、見学や講話、測量の実技指導等本校の教育活動に多大なる御支援と御協力を戴き心より感謝いたしますとともに、厚く御礼を申し上げます。

う三項目の実践でありまう建設業をはじめとする各就業場所における四月からの卒業生の活躍に大いに期待したいと思っています。これからの地域の皆様の信頼に応えることが出来、地域に貢献できるような生徒の育成に教職員一同気持ちを新たに尽力してまいりますので、これまで同様御指導と御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

最後にありますが、皆様にとりまして活気あるそして充実した一年となりますようお祈り申し上げます。新年の御挨拶いたします。

工業高校における人材育成

長崎県立鹿町工業高等学校

校長 加藤 倍敬



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申

申し上げます。日頃から本県の工業教育の充実・発展のために、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

「長崎県の産業を支える人材育成事業」の一環として、長崎県建設業協会には5日間の現場実習と見学受入れ、校内での実技指導として足場は長崎県高土工業

連合会、鉄筋は長崎県鉄筋工事業協同組合、測量は長崎県土地家屋調査士会から多数の講師を派遣して頂くなど、関係諸団体の支援により工業高校（特に土木系教育）ならではの意義ある実習が行われています。

また、地元企業による就職セミナーに毎年延べ40社程参加して頂き、建設業の魅力を直接生徒に伝えても

をを含む）は2年前の53%から81%に達する見込みです。

県内就職率が大幅に改善してきたのも、関係諸団体との連携や教育委員会が推進してきた「ふるさと教育」など様々な取組が徐々に結果としてきたのではないと私は分析しています。

緑豊かで活力ある社会の実現に向けて

一般社団法人日本造園建設業協会長崎県支部

支部長 田維 豪裕



令和二年の輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

造園建設業界を取り巻く状況は、一般社団法人日本造園建設業協会が、取り組んできた要望・提言活動が実を結び、「担い手三法」を契機に、労務単価の改善、ダンピング対策の強化措置等による受注環境の改善が進み、公共事業費の維持・確保も図られるようになり、ここ数年間で大きく変化致しました。しかし、技術者・技能者の高齢化、若手入職者の減少と、新規入職者の減少・離職による、技術者・技能者の承継などの問題や、事業量の確保と将来の見通しが不透明であるところから、今後の課題となっております。

備・管理への展開・参入機会の拡大等、中長期的な視点に立つて、造園の社会認知度の向上に取り組み、造園力発揮機会の拡大、受注環境の改善、要望・提言の活動の展開を図りつつ、県民の要望に的確に応え、人と自然が共生する、緑豊かで持続可能な社会の形成に貢献し、次世代に継承する社会的使命を果たす必要があります。

また、平成二十一年度から諫早湾干拓潮受堤防に、ボランティアでヒガンバナの植栽を十一年間にわたって、総計三十三万球・総勢六百六十人をかけて行つてまいりましたが、昨年遂に、端から端までヒガンバナの赤い線が繋がり、無事に終了致しました。

今後法令順守はもとより、企業倫理や社会規範に沿った事業運営、企業としての社会的責任を積極的に果たしながら、緑豊かで美しく、活力ある社会を創り出す為、努めて参る所存であります。

本年が皆様方にとりまして、素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



MOSTY ALLIANCE

みなと建設株式会社

代表取締役 鴨川 秀昭

長崎県佐世保市稲荷町2番53号 TEL.0956-32-0600 FAX.0956-32-0606



HORIUCHI
ISO9001/ISO14001取得

株式会社 堀内組

代表取締役社長 山下 功三

本社 〒858-0908 佐世保市光町109番地

TEL 0956-47-2127(代) FAX 0956-48-5069

E-mail: info@horiuchi-g.co.jp URL: http://www.horiuchi-g.co.jp/

ご登録は、お済みですか？

ご購読者専用サービスサイト

入札情報／発注予定・予算／完成工事高／格付け／記事

お申込みは トップ画面「入会案内」▶ ネット会員お申込み

http://www.kensetsunews.co.jp

当社ホームページをご覧頂くには、パスワードのお申し込みが必要となります。

建設新聞

購読者専用
WEB
サイト

建築・型枠工事 [長崎県知事許可 第5839号]

本田建設 株式会社

代表取締役 本田 英樹

〒857-1161 長崎県佐世保市大塔町 648-120

TEL.0956-31-3006 FAX.0956-31-3037
[作業場] TEL.0956-47-4229 FAX.0956-47-4441